

平成27年度 第1回学長選考会議議事要録

日 時 平成27年7月2日（木）10:00～11:20

場 所 事務局1号館2階会議室

出席者 <委員> 関議長，蟻川委員，石田委員，和泉委員，小畑委員，内川委員，
岸本委員，西原委員，渡辺委員，岡田委員
<委員以外> 榎並監事，清水監事，丹沢副学長・事務局長

資 料

1. 職務に係る業績調書
2. これからの大学運営に対する所信
3. 再任に向けた決意と所信
4. 学長選考会議送付資料等
5. 学長選考過程に関する意見

参考資料

1. 国立大学法人東京工業大学に求められる学長像について
2. 国立大学法人東京工業大学学長候補者の選考及び学長解任の申出に関する規則
3. 国立大学法人東京工業大学学長選考会議規則

○ 定足数の確認

委員11名，定足数8名に対して出席者10名で成立。

○ 平成26年度第4回学長選考会議議事要録については，承認済の旨報告。

○ 議題

1. 再任の審査について

(1) 学長ヒアリングについて

議長より，本日は三島学長から，資料に基づき説明を受けた後ヒアリングを行う旨の説明があった。

次いで，三島学長が入室し，資料1から資料3に基づき説明が行われた。その後各委員からの質疑に対し，学長から十分な説明があり，ヒアリングを終了した。

学長からの説明

- ・大学改革の推進に向けた今後の方針・施策として，学院・研究教育院体制によ

る教育システムの確立と実行，研究組織の再構成と研究環境の整備，教育改革，研究改革を含めたこれからの大学運営に必要なガバナンス改革をできる限り教職員の理解と協力を得つつ推進していく。

- ・ ミッションを明確にし，リーダーシップを発揮して，執行部の強固な連携と教職員の団結により，広く透明性を確保した大学運営体制改革を共に実現し，学生が最高の教育研究環境で勉学に集中でき，教員が伸び伸びと研究，教育に打ち込み，職員が生き生きと職務を遂行できる，より良い環境を築きあげる。
- ・ 世界最高の理工系総合大学を目指し，引き続き職務を全力をあげて取り組んでいく。

委員からの主な意見

- ・ 教員が学長から説明を受ける機会が増えた。このことは非常によいことなのでこれからも継続して進めていただきたい。
- ・ これまでの学長は非常に良く取り組まれている。引き続き今までどおり目的達成に向け努力いただきたい。
- ・ 短期間でこれだけの大学改革をよくまとめられている。
- ・ 教職員から色々な意見が出されるのは，大きな改革を進めていくうえでは当然のことである。
- ・ 学長からのメッセージを伝えるなど，常に情報を流すことが大切である。
- ・ 学長からの情報伝達はありがたい。さらには，教職員からの意見に対しても，どのように対処されているのかが見えるような仕組みがあると，現場にもやる気が出て一体感も出てくる。
- ・ 教職員と学長のコミュニケーションを進める新しい仕組みがあればよい。

学長からの回答

- ・ 教職員の理解を深める場を工夫したい。
- ・ 学生に関しては，1年生の時からやる気にさせることや，達成度評価がスムーズにいくように教育革新センターと連携し，より良い学修環境の構築を進めていく。
- ・ 教育改革，研究改革に係る負担が増える中で，教員が教育と研究に当てることのできる時間の確保については，本格的に検討していく。

(2) 再任審査のプロセスについて

議長から，再任の審査プロセスについて説明があり，種々意見交換が行われ，審議の結果，再任の審査については，より慎重に進める必要があることから，次回の本会議で審議することを承認した。

次いで，議長より，本日開催の議事要録については，速やかに各委員の確認をいた

だき、承認後は速やかに公表することにした。

また、議長より今後の議事要録の作成、公表についても、会議終了後速やかに作成し委員による確認を行ったうえで、公表することについて提案があり、これを承認した。

2. 次回開催について

総務課長より、次回は7月23日（木）10：00から開催する旨の案内があった。

以 上